



鶴ヶ丘祭

学校行事《第2学期》

9月 1日	始業式・防災学習	11月 1日	第2回受験生保護者対象入試学校説明会
2日	1・2年 スタディーサポート 3年総進 基礎学力到達度テスト模擬	2日	3年特進（全員）・総進（希望者） ベネッセ・駿台共通テスト模試会場受験
12日	生徒会役員選挙	5日	2年 生徒対象修学旅行説明会
14日	3年特進（全員）・総進（希望者） 大学入学共通テスト模試会場受験	6日	2年特進 記述模試（～7日）
25日	3年 基礎学力到達度テスト	7日	1年特進（全員）・総進（希望者）記述模試
26日	生徒総会	8日	3年 期末試験（～11日）
27日	2年 保護者対象修学旅行説明会	12日	1・2年 三者面談（～14日）
10月 1日	1年 生徒対象進路説明会	15日	第3回受験生保護者対象入試学校説明会
2日	1年 高大連携教育（学部見学）	17日	1・2年 コース選択最終締切
4日	日本大学創立記念日	18日	3年特進 特別選択授業開始
6日	3年総進 三者面談（～8日）	28日	3年 総進 新時間割Ⅰ期開始 2年 期末試験（～12月2日）
7日	3年特進（全員）・総進（希望者） ベネッセ・駿台記述模試（～8日）	29日	受験生保護者対象進学相談会
10日	1・2年 中間試験（～15日）	12月 1日	3年特進 三者面談（～6日）
18日	第1回受験生保護者対象入試学校説明会	3日	2年 修学旅行 先発班出発（～8日）
22日	2年 生徒対象進路説明会	4日	2年 修学旅行 後発班出発（～9日）
29日	体育祭	6日	1年 期末試験（～10日）
		12日	答案解説授業（～13日）
		17日	普通救命講習
		20日	終業式
		22日	2年特進「情報Ⅰ」勉強会（～25日）

第72回鶴ヶ丘祭

開催日 2025年6月21日・22日

テーマ ユートピア
～愛を片手にもっとずっとピュア～

第七十二回鶴ヶ丘祭によせて

学校長 寒川 聰



皆さんこんにちは。

令和七年度第七十二回鶴ヶ丘祭が始まります。ご来校いただき誠にありがとうございます。

今年度のテーマは、
「ユートピア」
～愛を片手にもっとずっとピュア～

鶴高生が作り出す理想世界—ユートピア—をお楽しみください。そこは皆さんが気持ちよく、楽しく、良い思い出となる世界でしよう。

鶴ヶ丘高校には、三つの校訓があります。

「自主創造」（自ら考え）
「真剣力行」
（何事にも一生懸命に取り組み）

「和衷協同」（仲間と力を合わせる）

それを体現するように、この鶴ヶ

丘祭は、生徒たちが創造力を發揮し、少ない時間の中で仲間と協力をし、準備を重ねてきた成果の発表の場、自分を表現する場となります。生徒たちの熱い思いがこもった様々な表現を体感してください。

そして本校の様子、空気を感じてください。皆さんの温かいエールが、生徒たちの挑戦する力となり、その先へ進む糧となります。どうぞ、最後まで鶴ヶ丘祭を満喫

してください。

生徒の皆さん

待ちに待った鶴ヶ丘祭の日となりました。準備からこの日まで協力をしてきました仲間との絆を大事にして、お互いの才能を讃え合い、その想像力を最大限に發揮してください。鶴ヶ丘高校の空気と皆さんの作り上げたユートピアを来場者の皆さんに届けてください。最高の成果を目指しうけましょう。

鶴ヶ丘祭によせて

生徒会指導部主 催 滝澤 満

六月二十一日（土）・二十二日（日）の日程で、本校文化祭、第七十二回鶴ヶ丘祭が、「ユートピア～愛を片手にもっとずっとピュア～」をテーマに開催されました。

鶴ヶ丘祭実行委員会と生徒役員会が考えたテーマには、鶴高生の理想の世界をみんなでつくるう！（愛を）思いやりのあるあふれる「片手に」幸せを運んでくれる「もつと」鶴高生だけでなく、来校者の愛も集める「ずっとピュア」ずっと、この純粋な気持ちを忘れずにすごして欲しい」という思いが込められています。文化祭の実施時期としては早い六月に、天候に恵まれて、二日間で五〇〇〇人を超える来場者をお迎えすることができました。

一年生は合唱コンクール、入学か

ら中間試験を経て二か月足らずの準備期間で発表となりましたが、その歌声は素晴らしいものでした。二年生は発表・参加型企画。教室使用企画では中心となり多くの来場者に楽しんでいただきました。三年生は模擬店。「万博」をテーマに、他国の料理を工夫して提供していました。その他にも各クラブの企画やステージ発表、有志によるパフォーマンスなど、中でも青空ステージと称して中庭で行われたカラオケでは、普段見ることのない生徒の一面を見ることができ、また、その個性あふれる生徒たちは自分にできる力を出し合いました。協力し合って、鶴ヶ丘高校最大の行事をやり遂げました。次頁に企画一覧を掲載いたします。来年度の鶴ヶ丘祭もご期待ください。多くの来場者をお待ちしています。

第1学年 合唱祭

組	曲目
1年A組	心の瞳
1年B組	時の旅人
1年C組	モルダウ
1年D組	聞こえる
1年E組	春に
1年F組	ヒカリ
1年G組	~二十一世紀を生きる君たちへ~決意
1年H組	HEIWAの鐘
1年I組	はじまり
1年J組	IN TERRA PAX 地に平和を
1年K組	信じる
有志合唱	Hail Holy Queen
音楽選択者合唱	TRAIN-TRAIN
全員齊唱	日本大学鶴ヶ丘高等学校校歌

第2学年 クラス企画

企画団体	企画名
2年A組	イセゲーム
2年B組	MOO MOO MANIA!
2年C組	生者立ち入り禁止！射的屋敷
2年D組	KICKING SNIPER 剛にしゃがれ
2年E組	VS 光
2年F組	Jun -それが見えたなら終わり-
2年G組	ダディダディ DASH
2年H組	賭けろメロス
2年I組	maid CASINO ~当日欠勤でごめんなさい！~
2年J組	なかまさがし (謎解き型お化けやしき)

第3学年 模擬店運営

企画団体	企画名
3年A組	ブルコギドック
3年B組	VIVA DORILOCOS!
3年C組	KEBABUUU!!
3年D組	グランメゾン上海
3年E組	ポーランド、ポーポップ
3年F組	ワッフル
3年G組	ナムケンサイ (かき氷)
3年H組	チュロス
3年I組	たこ焼き
3年J組	今日、チキンになりました。 -タンドリー編-
3年K組	ピツツアカキヌマーノ
3年L組	Colorful Cotton Candy

各種団体企画

企画団体	企画名	企画団体	企画名
サイエンス部	Science club ~実験室へようこそ~	料理部	チョコパイ
書道部	書道部 うちわ手作り体験	吹奏楽部	LIVE LIVE 2025
芸術科(美術)	木彫作品展	ダンス同好会	文化祭公演
情報部	イラスト・アニメ・ゲーム…部員の作品展示中!!	バトントワリング部	Dreaming Light
英語部	PLAY GAMES! HAVE FUN!	カラーガード部	if -あなたが選んだ今日を忘れない-
写真部	作品展示	有志	バンド・ダンス・お笑い
桜園会	各種飲料とお菓子の販売	有志	青空ステージ
同窓会	思い出の品・卒業アルバムの展示	図書館	古雑誌と古本の無料配布
演劇部	演劇部 短編	日本大学生物資源科学部	ハムソーセージ販売 ※ 1日目21日(土)のみ
弓道部	的当てげえむ	厚生委員会	日本赤十字社 献血 ※ 2日目22日(日)のみ
茶華道部	茶会	放送部	校内インフォメーション／ステージ音響スタッフ
茶華道部	華展		

中夜祭

団体名	メンバー	企画
18(eighteen)	3 A中村／3 E諷訪／3 H小笠原	バンド
WAICTT	1 Cたまき／1 Gいつき・わかな・あれん・夢乃／1 Hただ	バンド
CLARO	3 B秋田	歌
Steamed egg custard	3 E福村	ダンス
鶴の神シスターズ	3 C森本／3 I萩原	ダンス

団体名	メンバー	企画
すわゆうり	3 F諷訪	ダンス
せせりとはつ	3 D平石／3 H岩本	ダンス
チョコミント	3 B濱中／3 C朝里／3 F山中／2 E萱屋／2 F塚田／2 J藤森	ダンス
Charm Holic	3 E竹内／3 H古谷／3 I田中／3 J水瀧・林田・須貝／3 K牛来	ダンス

来年の文化祭では、今年以上の盛り上がりを見せてほしいです。生徒だけでなく、来場者にも「来年も来たい」と思って頂けるような文化祭を創ってほしいです。文化祭は楽しむだけでなく、協力することの大切さや一つのことを作り上げることの難しさなど多くのことを学べる最高の行事です。文化祭は一年に一回しかなく、去年のクラスメイト、仲間達と参加できるのは人生で一度きりです。せっかくなら思いつきり楽しんで、自分の笑顔で周りを、そして文化祭全体を笑顔でいっぱいにしてください。今後とも文化祭実行委員会をよろしくお願いします。

実行委員会では、門の作製、オープニングの企画の当日の運営などの活動をしました。今年は昨年以上に生徒会と協力をしてより良い鶴ヶ丘祭を創り上げることができました。三年生は模擬店を、二年生はクラス企画、一年生はクラス合唱を行いました。食品管理の難しさやお客様が怪我しない設計作り、そして朝、昼休み、放課後の歌練習と全年生に喜んでいたことができました。

第七十二回鶴ヶ丘祭実行委員長を務めた安部信太朗です。今回は一般客の来場が再開して三度目の文化祭でした。今回の文化祭の成功は、私たち生徒だけでなく、教職員や、地域の方々のご協力があつたからこそだと感じています。

七十二回鶴ヶ丘祭によせて
鶴ヶ丘祭実行委員長

三C 安部信太朗 (生田中)

オーストラリア海外語学研修

【7月31日～8月21日】

青空を見上げるたびに…

引率 英語科 山内 智史

今年度は15名で、Australia, Brisbaneにある姉妹校Grace Lutheran Collegeへと向かった。緊張の面持ちでHost Familyと対面した初日から、最後の涙の別れまで、全日程を全員で有意義に過ごすことができた。

現地の授業やHost Familyとの生活の中で、積極的に行動することで英語で理解し、英語で伝える姿勢が自然と身に付き、習慣や生活に徐々に適応するにつれ、明日が来るのを楽しみに待つ自分に気付いていた。学校を離れてのアクティビティーや、週末にHost Familyと過ごす時間には、広大な土地と大自然の中で、東京ではできないこと、見ることのできない景色を多く経験したようであった。満天の星空は、生涯忘れられないものになったはずである。

授業の受け方や学校のルール、放課後や週末の過ごし方、家族で過ごす温かな時間といったAustraliaの生活様式を、日本での日常と重ね合わせていた。当たり前だと思っていた

ことが当たり前ではないということ。『ふつう』というものが1つではない世界の中で、違いを受け入れ、考え、行動する広い視野と価値観を育むことができた。何よりも、自分を迎え入れ、愛情や友情を惜しみなく向けてくれた日々に感謝し、心を揺さぶられていた。心は言語を越え、人と人の繋がりには国境がないと体感したことは、何にも代えがたい。

彼らが得たこと、感じたこと、そしてAustraliaでの出逢いのすべてが、これから歩む道を照らす指標となり、世界を生きる1人の人間としての確かな礎となれば、この海外研修は、過ごした時間以上に価値あるものとなる。

青空を見上げるたびにAustraliaで過ごした日々を思い出し、その記憶がそっと背中を押すように、あの日々の続きの「これから」を大切に歩んで欲しい。出逢えたすべてに、そしてあの頃の自分に胸を張っていられるようにな。

(研修内容の詳細は本校HPをご覧ください。)



ニュージーランド海外語学研修

【7月28日～8月20日】

ワイマテ最高！ワイまた！

引率 英語科 田口 裕基

今年のNZ語学研修は南島のワイマテ（人口約8200人）というこぢんまりとした町にあるワイマテ高校で実施された。

滞在中強烈に感じたのは、学校・地域、保護者、生徒相互の絆の強さである。7年生から13年生までの7学年の約300人の生徒の名前と顔をこの学校のジョー校長は全員覚えている。学校内でも町を歩いていても、会えば名前で呼びかけている。このような学校に子どもを預けている保護者は安心そのもの。学校も町もとても風通しがよい。

2024年のNZ全体の人口は約534万人。一方、2025年8月の東京23区の人口は約994万人。そして高1から高3までの3学年で約1200人も在籍している学校から参加した11名の本校生徒にとっては、見るもの、聞くことの全て

がありえない経験の連続だったはず。

調理実習ではさまざまなKIWI料理を作るとともに食することができた。技術実習では校庭にそびえ立つ樹齢400年の木を間伐し、それを材料として宝箱を作った。そこには参加生徒1人1人の人生の目標がマオリ語で刻まれた。

そしてESOL（鶴高生対象の英語授業）ではニコル先生が創意工夫を凝らして、様々なKIWI英語を教えてくれた。ジョー校長やキャシー先生は自らハンドルを握り、片道約3時間の空港への送迎、テカポ湖やオマルへの遠足に連れて行ってくれた……等々、学校、町、ホストファミリー全体が我々を大歓迎してくれている熱い気持ちが火傷するほど伝わってきた濃厚な21日間の滞在であった。

（研修内容の詳細は本校HPをご覧ください。）



オーストラリア 3ヶ月留学報告

【6月28日～9月20日】

オーストラリア 3ヶ月留学とは、従前より姉妹校契約を締結し、海外語学研修等で交流を行っているオーストラリアのGrace Lutheran Collegeへの約3ヶ月の短期交換留学です。

松原 実咲 (2F・長沢中)

私は今回、3ヶ月のオーストラリア短期留学に参加させていただきました。この3ヶ月を通して私は英語だけではなく色々な面で成長することができたと感じています。到着してから最初の2週間は語学学校のBrowns English Language Schoolに通い、英語を学びました。様々な国の人たちと協力し合い、たくさんコミュニケーションをとることができました。生徒は、台湾や中国などアジア圏出身者が多かったのですが、日本人は2人ほどしかいなかったため日本語に依存することなく、とても良い環境で学ぶことができました。

その後、姉妹校であるGrace Lutheran Collegeで1学期分の授業が始まりました。現地校は語学学校とは違い、『英語ができる当たり前』という環境で授業を受けるため最初

は大変なこともありましたが、だんだんと慣れてくると授業で発言ができるようになり、また友達も増え自然と会話ができるようになりました。休日には友達と遊んだりホストファミリーとお出かけをしたりなどブリスベンの様々な場所へ連れて行ってもらいました。学校の授業では英語や数学など日本と同じ教科もありましたが、宗教やメディアなど普段は受けることのできないような科目も受けることができ、とても良い経験となりました。

これらを通して私は、自分からさまざまのこと挑戦し、行動することの大切さを改めて実感することができました。また、両親やホストファミリー、サポートをしてくださった方々に感謝の気持ちを忘れず、この大切な経験を将来の自分に繋げていきたいです。



令和7年度 日本大学付属高校生のためのケンブリッジ大学サマープログラム

【7月18日～8月4日】

今年も、ケンブリッジ大学ペブルックカレッジにて3週間の語学研修が行われた。本校からは2名の生徒が代表として参加した。

羽島実果子（2E・駒沢中）

ケンブリッジサマープログラムの思い出は主に2つあります。

まず1つは、イギリス文化を現地の先生やケンブリッジ生から教わったことです。イングリッシュティーと一緒にスコーンを食べる授業もありました。このようにユニークな授業の中でも1番印象に残ったものは、街ゆく人にイギリス王室に関するインタビューをするという授業です。まわりの付属生はみんな積極的に話しかけていて、その姿にとても刺激を受けました。

次に、2人で1部屋の寮生活です。今まで親と生活してきた私にとってすべて自分1人

でやらなければならない環境は新鮮でした。朝起きることから始まり自分で食事を調達し洗濯し、さまざまな経験をしました。まわりの付属生に助けられ、自分1人では何もできないということを痛感しました。授業だけでなく生活もまわりの付属生と共にすることで、絆が深まったと思います。

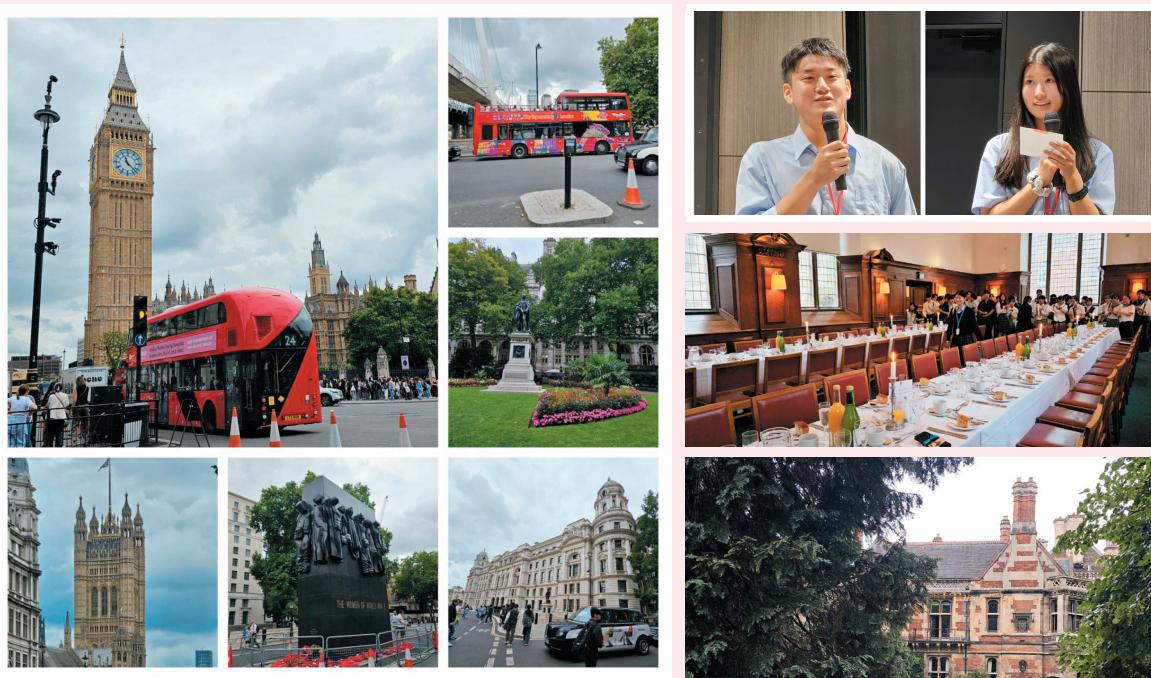
このように、自分の未熟さを知り、まわりと助け合いながら海外で生活することで、語学力の向上はもちろん、心の成長にもつながりました。このことから、私はケンブリッジサマープログラムに参加して良かったと心から言えます。

鎗 碧央和（3I・文京十中）

選考に通ってはみたものの、このプログラムが始まる前は、「自分の英語力でやっていいけるのか？初めて会う人たちと3週間も共に生活できるのか？」など、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、研修が始まっていますから、授業やアクティビティなどさまざまな活動を通して仲を深めていくことができ、最高の仲間に出会えたと今は感じています。英語に関しても、最初は全然聞き取ることができず焦りましたが、自分から積極的に話しかけたりすることで、少しずつですが、何を言われて

いるのかわかるようになりました。自分の成長を実感することができました。それが大きな励みになりました。研修が始まってからは、「参加前、不安に思っていたあの時間は何だったんだ、本当にあったのか？」と感じるくらいにあっという間に過ぎていきました。

この研修を通して、多くのことを学ぶことができました。3週間という短い期間でしたが、最高の経験ができ、最高の仲間に出会うことができ、本当に参加して良かったと思っています。



らも、応援よろしくお願ひします。
令和七年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会 男子73kg級
【一年生での全国大会経験】
私は、この夏休みに鳥取県米子市で開催されたインターハイに出場してきました。



初めての全国の舞台という事もあり、本当に緊張しました。インターハイ予選会までは、記録も良く、調子も上がりつており、とても良いコンディションで迎えたインターハイでした。

しかし、当日はインターハイという大会の大規模さ、他校の先輩方の気迫等に気持ちで負けてしまい、結果はスナッチ三回中一回成功、続くクリーン＆ジャークでは、三回中ゼロ回成功。「失格」という結果で終わってしまいました。私は、この大会でどんなにコンディションが良くて、気持ちで負いたら、試合でも負けてしまう事を学びました。応援やサポートをしていただいた方々に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

来年、再来年は、努力を重ね気持ちで負ける事無く、インターハイ優勝を目指し、二連覇出

来るよう日々努力していきます。引き続き、ご声援よろしくお願ひいたします。

令和七年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会 男子73kg級
【一年生での全国大会経験】
私は、この夏休みに鳥取県米子市で開催されたインターハイに出場してきました。

初めての全国の舞台という事もあり、本当に緊張しました。インターハイ予選会までは、記録も良く、調子も上がりつており、とても良いコンディションで迎えたインターハイでした。

しかし、当日はインターハイという大会の大規模さ、他校の先輩方の気迫等に気持ちで負けてしまい、結果はスナッチ三回中一回成功、続くクリーン＆ジャークでは、三回中ゼロ回成功。「失格」という結果で終わってしまった。私は、この大会でどんなにコンディションが良くて、気持ちで負いたら、試合でも負けてしまう事を学びました。応援やサポートをしていただいた方々に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

来年、再来年は、努力を重ね気持ちで負ける事無く、インターハイ優勝を目指し、二連覇出

放送部

第49回全国高等学校総合文化祭（かがわ縦文祭）

放送部顧問 近藤 明宏

もう一つは、昨年十一月に開催された東京都高等学校文化祭ビデオメッセージ部門（作品名・あーね完全解剖図解制作代表・竹野純）で入賞し、全国大会（七月二十一～二十四日・東京）に臨んだ。十年以上前に流行した若者言葉「あーね」をピックアップし、本校生徒へのアンケート調査や言語学者への取材や実証実験などをまとめた作品である。企画を聞いたときには「なぜ」という精神で制作に入ることになった。

心者の本校生徒が短時間のトレーニングでけん玉の基本技を成功させることができた。初めて出来た瞬間の笑顔が作品にリアリティーを与えていたが、本作品は探究的な要素が強く、新たな挑戦といえよう。残念ながら入賞には至らなかつたが平成十九年度より続いている全国大会連続出場記録を更新した。

もう一つは、昨年十一月に開催された東京都高等学校文化祭ビデオメッセージ部門（作品名・kendama2.0制作代表・竹野純）で二位となり、かがわ縦文祭への切符を手に入れた。放送部門は七月三十・三十一日の二日間にわたって香川県三木町の三木町文化交流プラザで開催された。縦文祭のビデオメッセージ部門で扱う題材は郷土（東京）の話題という縛りがある。本作品は伝統的な遊びと思われている「けん玉」の最新事情について深掘りしたものである。日本けん玉協会やフリースタイルけん玉世界チャンピオン・東京大学の研究者などに取材を行なった。けん玉の現在をクローズアップしている。特に東京大学への取材では、VRけん玉を体験したけん玉初

心者の本校生徒が短時間のトレーニングでけん玉の基本技を成功させることができた。初めて出来た瞬間の笑顔が作品にリアリティーを与えていたが、作品に対する評価は上々であったが同じブロックに文部科学大臣賞（第一位）の作品があり、惜しくもブロック二位で涙をのんだ。夢は後輩へ引き継がれる。

制作者は粘り強く取材と実証実験を行なった。完成作品を見てみると、「あーね」という言葉が現代の若者の気質を反映した言葉ということであった。相手に対しても必要以上に気を遣つた表現やあいまいなばかした表現として使われてい



力ヌー

第七十九回国民スポーツ大会体験記

一F

新田美蒼空（東浦和中）

二〇二五年十月三～四日、滋賀県で行われた第七十九回国民スポーツ大会にカヌースラロームの選手として出場し、「一日間とも一位を取り入賞することができました。嬉しい半面、「もう少しできたのではないか」という悔しさが残りました。

カヌースラロームという競技では、川の流れの中に設置されたゲートを決められた順番通り抜け、タイムを競います。一見シンプルですが、水の流れやバランスを読む力、体力、そして集中力が必要で、とても奥が深い競技です。

大会や強化合宿のたびに、クラスメイトから多くの応援を貰い、本当に力になりました。応援の声を聞くたびに「もっと頑張ろう!」という気持ちが強くなり、最後まで全力で漕ぎ切ることができました。

この大会を通して、自分の弱点や課題も見つかり、前より成長できたと感じています。今はジュニアの日本代表として活動していますが、来年も代表に選ばれるように、これからも練習を重ねていきたいです。

勉強とカヌーの両立は簡単ではなく、スケジュール力や自律心が必要です。時間大切に、高校生活もカヌー競技も思い切り楽しんでいきたいと思います。



特進合宿

特進コース合宿講習は、学力向上・学習習慣の構築・長期休暇中の時間管理力の形成を目的としたプログラムである。生物資源科学部の富士自然教育センターをお借りし、4泊5日の日程で実施している。今年度は7月22日～26日の日程で行われ、特進コースの2・3年の生徒が参加した。

合宿中は、朝6:00から夜22:20まで休憩をはさみながらも、合計で1日10時間勉強する時間割が組まれており、自宅では得にくい緊張感や集中力を保ちながら学ぶことができる。合宿に参加した生徒の振り返りでも「4泊5日は長いと思っていたが、来てみると意外にもあっという間だった。授業は眠気との戦いだったけど、友達と一緒に勉強することで中断することなく長時間勉強する習慣が身についたと思う。」や「友達と高めあえてとても良い経験になりました。これからもこの習慣を維持できるように頑張りたいです。」などのコメントが多く見られた。良い夏のスタートを切れたようである。



令和7年度特待生・奨学生

7月12日（土）に、本校図書館多目的ホールにおいて、今年度の日本大学特待生と、本校奨学生に対する授与式が保護者同伴のもと行われました。

日本大学特待生

- 3 B 大澤 慧士（東海中）
- 3 G 大幸 初咲（浅間中）
- 2 A 菊地 南帆（神明中）
- 2 E 宮田 結夏（松ノ木中）

日本大学鶴ヶ丘高等学校奨学生

- ◎第一種
3 A 古川 敦也（深川三中）
- 3 L 加藤 広大（調布中）
- 3 L 松浦 大樹（高井戸中）
- 3 L 堀尾 涼花（稻田中）
- 2 E 宮内 翔子（宮前中）
- 2 J 井野田奈穂（国立一中）
- 2 J 神谷 美咲子（住吉中）
- 2 J 長谷 玲奈（生田中）

◎第二種

- 1 B 田辺 一希（向陽中）
- 1 C 中村 颯太（国立一中）
- 1 K 澤田 悟（石神井東中）
- 1 K 高橋蒼太郎（代々木中）
- 1 K 宮谷竜之介（柳沢中）
- 1 K 吉光 了章（富士中）

日本大学鶴ヶ丘高等学校英明第1種奨学生

- ◎第一種
3 E 福山 花音（神代中）
3 L 新代（松溪中）
3 L L 渡影 葉（稻城五中）
3 L C 影飯 裕己（調布八中）
2 J 江本 茉莉（新宿中）
2 J 紗（笹塚中）

- 2 J 近藤 陸翔（光が丘一中）
2 J 曽根 智穂（谷口中）
1 A 齋藤 凜（緑野中）
1 B 大内 真優（二之江中）
1 E 角 陽哉（武蔵野三中）
1 F 本山 聰也（宮前中）



私は、多方面に趣味があり、ゲームしたり、アニメを見たり、ライブに行ったり。ギターを弾くことに最近は特に

副会長 海東 壱季

（二G・石神井南中）

私は、生徒会としての目標は、皆さん

私が生徒会長になつた理由は、皆さんの学校生活が充実したものになる手助けをしたいと考えたからです。

普段からクラスで話を聞いているところ、時々学校に対する不満のようなるのが聞こえます。そのような不満を少しでも軽減できるように、私は皆さんとの不満も広く聞き入れたいと考えています。そして、皆さんが満足できる学校となるよう尽力していきます。

これから一年間よろしくお願ひします。

会長 栗原 優真

（二I・阿佐ヶ谷中）

書記 木村 有沙（一F・駒形中）

書記 鈴木 慧（一C・三鷹四中）

私は、今年の生徒会活動で生徒の声を聞き、それを反映することを頑張っていきたいです！

私は、選挙の時に公約に掲げたものはもちろんのこと、生徒の皆さんが思っているやりたいこと・変えたいこと。それが叶えていくよう全力を尽くして活動していきます。そのためにも、生徒会員として書記として仕事をしっかりとこなしていくと思つていてま

す。しかしそのためには皆さんのご協力がなくてはなりません。ご協力よろしくお願いします！

会計 小川絵里奈（一C・稻田中）

私はこの生徒会で「繋がり」と「挑戦」を大切に、全員が鶴高に入つて良かったと思える学校づくりを目指します。学校行事や日常の中で一人一人の声に耳を傾け、皆さんと一緒により良い学校づくりをしていきたいです。良

第58期生徒会役員紹介



ハマっています。実は文化祭でバンドもやつきました。親しみやすい副会長もやつました。親しみやすい副会長を目指しているので、気軽に話しかけてください！

副会長 二瓶 尊（一D・新曾中）

副会長 二瓶 尊（一D・新曾中）

副会長 二瓶 尊（一D・新曾中）

皆さん、こんにちは。副会長の二瓶です。私は今年、以下の活動をしようと思っています。一つは「インスタグラム日鶴生徒会公式アカウント」の開設、もう一つは目安箱（改訂版）の制作です。これらは主に学校の広報や生徒の意見の収集に役立てたいと思っていました。また、服装や身だしなみの規定などを先生方と見直していきたいと考えております。在校生の皆さんや新入生が華の高校生として、よりよく過ごせるように、良い高校だったと思えるよう尽力していきます。

会計 栗原 奏拓（一G・北野中）



生徒会指導部主任 滝澤 満

第17回体育祭が10月29日（水）、日本大学生物資源科学部湘南キャンパスグラウンドにて開催された。今回の体育祭では、体育祭実行委員からの要望により、騎馬戦と棒引きの種目が復活した。前日のリハーサルを入念に行い、安全指導をしたうえで、とても迫力のある競技が実施された。応援合戦では、3年生を中心とした熱いパフォーマンスが、1・2年生との一体感を増し、盛り上がりを見せた。

**総合優勝：青団
準優勝：緑団**

▶応援合戦

優秀賞：青団
輝いていたで賞：緑団
面白かったで賞：白団
頑張ったで賞：赤団

▶部活動対抗リレー

スピード部門
優勝 女子：女子バレー部
男子：野球部
パフォーマンス部門
優勝 空手道部

▶学年競技

1年	台風の目		
	優勝：E組	2位：F組	3位：G組
2年	大綱跳び		
	優勝：C組	2位：F組	3位：E組
3年	玉入れ		
	優勝：I組	2位：J組	3位：G組

▶クラス対抗選抜リレー

1年	優勝：E組	2位：B組	3位：A組
2年	優勝：H組	2位：D組	3位：E組
3年	優勝：K組	2位：C組	3位：D組



体育祭実行委員長

佐藤 祐多（3F・田柄中）

私が2年生の時、1学年先輩の海老澤さんが実行委員長を務めており、体育祭前の集まりから本番まで、ずっと委員会を盛り上げてくれていました。当副実行委員長で、来年は委員長になろうと思っていた私は、海老澤さんが作り上げた体育祭よりもさらに良いものを作りたいと決心しました。

楽しみ半分、昨年を超えるかという緊張半分の中、わずかな時間の中で先生方や委員会のメンバーと競技を決めていきました。全学年、全クラスから意見を集め、かつて行われていた棒引き、

騎馬戦などの種目の復活や、学年種目の大幅な変更など、コロナ禍前のような体育祭にしようと決めました。昨年と同様、予定された時間に終わるように、集合場所やルールなどを各クラスの実行委員と先生方で共有してもらいました。これらの事前準備のおかげで、本番では、実行委員含め、皆さんが的確に動いてくださったおかげで無事に全種目を時間通りに終えることができました。また、それぞれの競技種目、応援含め最高の盛り上がりを見せてくれました。

ご協力いただいた方々、参加してくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

小笠原愛美（3H・春江中）
 柿平千慧（3H・滝野川紅葉中）
 兼平結愛（3B・渋谷本町学園中）
 木村優友（3H・世田谷中）
 小林侑未（3J・宮内中）
 馬場葵梨（3I・小松川一中）
 藤井千聖（3E・小金井南中）
 細田菜央（3K・田無四中）
 料治あさひ（3K・明和中）
 渡邊涼葉（3L・稲城五中）
 ▽鶴ヶ丘祭 華展・茶会（6/21～22）
 ▽杉並区総合文化祭 華道展（9/26～28）
 木村優友
 片田江玲奈（2C・宮前中）
 新藤寿乃（2C・北沢中）

南部桃子（2C・小金井東中）

■料理部

- ▽Table For Two事務局より感謝状授与（5/30）
- ▽料理検定&菓子検定実施（準会場）（6/6 12名受検）
- ▽鶴ヶ丘祭チョコパイ販売（6/21&22 計808食販売）
- ▽鶴ヶ丘祭TFT丼販売（6/21&22 計136食販売）
- 「鶴飯風ときめき☆丼」50食
- 「ヘルシー肉豆腐丼」41食
- 「ちゃんちゃん焼き丼」45食
- ※売上の一部2,720円と募金額1,800円の計4,520円を寄付
- ▽食品加工実習@生物資源科学部（8/19）
- ソーセージ（粗びき、レモンパセリ、バジルチキン）
- レトルト（角煮、サバ味噌、手羽煮）
- ▽陶芸体験@チルコロ駒沢店（8/27）

第29回校内英語スピーチコンテスト

令和7年6月7日（土）、本校多目的ホールに於いて第29回校内英語スピーチコンテストが開催されました。各々が思い入れのあるテーマを題材に、4分間の英語スピーチに挑戦しました。以下はコンテストの結果です。

- 第1位 1K 佐々木いお（大島中）
 Bridging the Gap with Words
 第2位 2J 月原 凛久（高井戸中）
 Courage to Fail
 第3位 1G 竹村 凛（梅丘中）
 One Action creates one smile
 審査員特別賞
 2I 森 菜乃伽（神田女学園中）
 Scold to Grow

なお、第1位に輝いた佐々木さんは、令和7年度日本大学付属高等学校等第44回英語スピーチコンテストに、本校の代表として参加しました。残念ながら8位までに入賞することはできませんでしたが、堂々としたスピーチを披露していました。



広報室



〈計報〉
高部兼太朗 教諭

高部兼太朗教諭が、かねてより病気療養中のところ、令和7年8月13日に永眠いたしました。高部教諭は、平成29年4月より本校、保健体育科非常勤講師として、平成30年度からは専任教諭として学級担任や教務部・生活指導部・生徒会指導部などさまざまな部署でご活躍されました。

顧問をされていたウエイトリフティング部では、幾度となく生徒たちを全国大会や国民スポーツ大会などへ導いています。どんな時にも明るい笑顔を絶やさず、熱い気持ちを持って生徒に向かう先生でした。謹んで哀悼の意を表します。

〈異動（転入）〉
**もりわき あきひこ
 森脇 曜彦 事務課長**

令和7年7月1日付で、文理学部会計課より本校に着任されました。

〈異動（転出）〉
**やまもと なおき
 山本 直樹 事務課長**

令和7年7月1日付で、芸術学部会計課へ転出されました。

第72回鶴ヶ丘祭 開催日 2025年6月21日・22日

